



8/23 「命のみなとネットワーク」海上輸送訓練

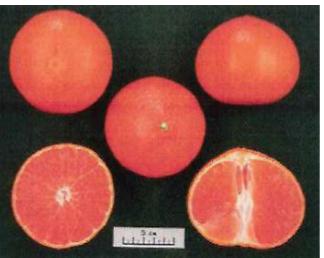
令和6年8月23日(金)、四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所と上島町が合同で『命のみなとネットワーク』海上輸送訓練を実施しました。

南海トラフ地震発生を想定し、整備局が保有する『くるしま』と上島町の救急艇『かみじま』が合同で魚島を経由して弓削島まで支援物資と人員の輸送訓練を行いました。魚島では地区住民と職員がバケツリレー方式で飲料水の荷揚げを行い、弓削島では被災者の搬送や物資の荷下ろしのほかに、海に漂う漂流物を回収できる、海洋環境整備船『いしづち』の一般公開も行いました。

今後も大規模災害に備え、関係機関との訓練に励んでいきます。



# 令和6年度全国統一防火標語 「守りたい 未来があるから 火の用心」



## ▲写真1 紅プリンセス果実

▲写真1 紅プリンセス果実

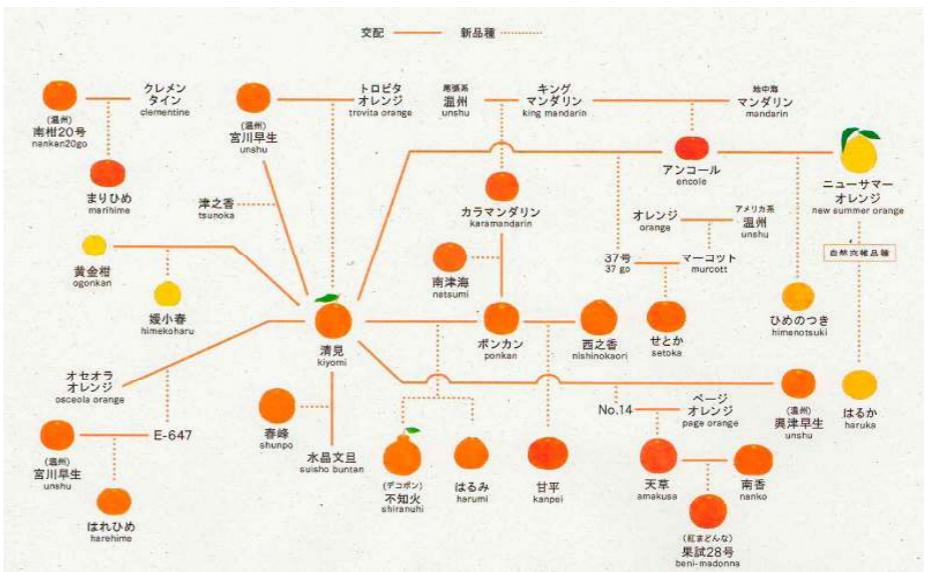
カンキツ類の在来品種は現在150種を超えると言われ、この20年ほどで中晩柑類の新品種が次々と育成されてきました。愛媛県においても紅まどんなど、甘平に続き、紅まどんなど甘平を親に育成された紅プリンセス（愛媛果試第48号）という新品種の栽培が始まり期待が高まっています。今回は、カンキツ類の新品種開発について解説します。

## ① カンキツの品種開発

昔からある品種（八朔や伊予柑など）の多くは、偶発実生と呼ばれます。

## ① カンキツの品種開発

られる種から偶然生えた個体と考えられる来歴不詳の品種や、温州ミカンなどで多い栽培中の樹より「枝変わり」と呼ばれるひと枝だけ外観や熟期が異なる果実がなる枝が偶然見つかり品種登録したもののがあります。また、異品種の花に花粉を付けて得られた種子を育てる交雑という育種方法による品種開発も古くから行われてきました。しかし、カンキツ主要品種の温州みかんは「多胚（たはい）種子」と呼ばれるひとつの種子に発芽能力のある胚種（はいしゅ）がいくつもあり、交雑した種の獲得効率が非常に悪いため新品種開発がなかなか進みませんでした。国立研究所で開発された温州みかんとオレンジの交配品種の「清見」が開発されたことで新品種開発が急速に進みました。この品種は、ひとつの種からひとつの個体が得られる「單胚（たんぱい）種子」であることから、交雑種子を効率よく得ることが可能となり、清見を母親にして多くの交雫品種が生まれました（図1参照）。現在も全国の公的な研究所ではその子や孫品種の交雫による新品種開発を行っていますが、お眼鏡に叶う品種がなかなか発見されないのが現実です。また、カンキツ類は種から発芽して得られた苗は、接ぎ木を行い結実期間の短縮を図りますが、



▲ 図1 主要中晩柑類の交雑系統図

種苗法が改正され、法律により育成品種の海外持ち出し禁止が強化されました。

それでも数年を要し、年に1回しか実をつけないため、果実品質の確認にも数年かかります。果実品質を確認してからも数年選抜を繰り返すため新品種の誕生までに20年近くかかります。新品種として世に出ても、栽培が減り消えていく品種も少なくありません。

## ② カンキツ新品種栽培の留意点



## 令和6年8月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R6累計
火災	0	0	0	0	0	0	3
救急	26	13	15	1	0	55	299

(令和6年8月31日現在)

【上島町消防署】

【上島町消防本部消防防災課】 ☎ 77-3166

地域を守る英雄 それはあなたです!  
消防団員 絶賛募集中!

救命講習を受けてみませんか?

消防本部では、AEDを用いた心肺蘇生法や身近な物を使用した救護法や搬送法などが学べる各種講習会を行っています。少人数からでも受け付けておりますので、お気軽に消防本部までご連絡下さい。

- 救命基礎講習(1時間から1時間30分)
  - 普通救命講習(3時間)
  - 上級救命講習(8時間)

※受講者の要望に応じて講習内容を検討します。